キャラクター名
白久 家和(しろく いえかず)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ブラックドッグ	ワークス	格闘家	カヴァー	探偵
オプショナル	ノイマン	年齢	30	性別	男
覚醒	探求	衝動	妄想	初期侵食率	35 %
出自	相棒と別れた	経験	元FH	邂逅	相棒

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0	3		7
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	1	0	0			1

HP	36
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	13	17	射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	9		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード×2	白兵	7r+29	3	9		対象のガードー5
5/バリツ/59	白兵	7r+24	3	18		マルチ+コンセ
5/バリツ/100	白兵	10r+25	3	18		マルチ+コンセ
7+10/神速蹴り/100	白兵	10r+25	3	18		マルチ+コンセ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
愛用のジャケット		4	0	0	指定技能の達成値+3

合計装甲：	4	合計回避：	0

所持品	
【エンブレム】	Em/故買品
Em/スレイヤーの証	コネ:情報収集チーム
Em/アフターライフ	コネ:要人への貸し
Em/†エクスライフスキル	Un/デモンズシード
【ジェネラルアイテム】	ウェポンケース
【ユニークアイテム】	
メモリー/木島 龍二	
Un/バトルマニューバ	
【取得予定のアイテム】	
Em/リタイアード	
Em/キルリーダー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
業師(スペシャリスト)	P	N		
ワトソン君	P 信頼	N 無関心		
湖南 弩異琉	P 尊敬	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	4	+4	常時	至近	自身			
効果： 専用アイテムLv個常備化								
ライトスピード	1	5+2	マイナー	至近	自身		100	
効果： メジャー2回 C+1								
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身			
効果： 飛行で戦闘移動 移動+Lv×2								
コンセ:ノイマン	3	2	メジャー			ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果： C－Lv(下限7)								
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器		白/射		
効果： 装備武器合算 命中-5-Lv								
バリアクラッカー	2	4	メジャー	武器		白/射	80	
効果： 装甲ガード無視 SnLv								
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	意志		
効果： 情報：**を行う 判定D+Lv								
リフレ:ハヌマーン	2	2	ﾘｱｸｼｮﾝ	至近	自身			
効果： C－Lv(下限7)								
切り払い	1	1	ﾘｱｸｼｮﾝ	至近	自身	白兵		
効果： ドッジを行う								
プロファイリング	★		メジャー	至近	自身			
効果： 頭がシャーロックホームズになる								
写真記憶	★		メジャー	至近	自身			
効果： 少しでも見た物は思い出せる								
軽功	★		常時	至近	自身			
効果： 壁も身軽に走れる								
効果：								

自分を探偵だと思い込んでる薬カス精神異常者…という程でもない、金になる仕事が全然舞い込まない貧乏探偵。
優雅にティータイム等している場合ではない。
「ははは。生活保護もそろそろ視野かなぁ！」と本人は気楽である。ただしこの金の無さは町の人の悩みを聞き入れ内容次第では
ほぼ無料で仕事をしているからである。

その背景には過去が関わっている。元FHエージェントで裏社会での仕事をしていたが、ある理由を境に組織を抜ける。
セルへの報復心から、「身に着けた力でセルの思惑とは真逆の事をする」為にこのような生き方をしている。
「無論、これが自分の為になるからというのもあるさ。悪くないだろう？人から感謝されるというものはね。」
でも、たまに軽い財布がつらくなって向精神薬を飲む。「よし！ミズ姫宮に新しい薬を処方してもらいにいこう！」

もし、レネゲイドとは無縁の世界に生まれていたら。かつての相棒に疎まれる事もなく、バカな話をして過ごせたのだろうか。
そう夢想する事もある。「レネゲイドは呪いだ。大いなる力の代償はあまりに重く、取返しの付かないものだ。」